

科目名：成人臨床看護Ⅲ (Adult Clinical Nursing Ⅲ) 履修年次/時期：2 年次 通年 授業形態：講義・演習 主担当教員：吉越洋枝（実務経験 看護師 11 年：病院看護師としての実務経験を踏まえながら、慢性・長期的疾患をもつ人とその家族に対する看護について考えられるよう授業を行う） 担当教員：渡邊好江、藤倉由美恵、五百部恵子		必	1 単位 45（時間）
学修目的	慢性的な疾患をもつ人・家族がセルフケア能力を高め、疾患と生活に折り合いをつけながら、その人にとって最適な健康状態になるような看護に関連する理論と方法を修得する。さらに、事例を通して、具体的な実践方法について修得する。CP1、2、3、4、5、6 に関連する。 科目NoKNz-210		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組み能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 健康支援を通し、全身の健康を守る看護実践能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる看護専門職として地域社会に貢献する能力を有する。	○
(3) 看護専門職としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。		○	
◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
到達目標	1. 慢性疾患をもつ人の特性を理解し、看護アセスメントに活用できる。 2. 慢性疾患患者に適用できる理論や概念について理解できる。 3. 事例を通して、慢性疾患をもつ人・家族の看護診断を明確にし、看護計画を立案することができる。 4. 慢性疾患をもつ人・家族への具体的な援助技術、援助方法を理解することができる。		
授業概要	慢性的な疾患と共に生活する人のセルフケアとその看護を学ぶ。対象が疾患と生活に折り合いをつけて、自分らしく生きていく過程を理解し、概念や理論を用いて具体的な実践方法について学ぶ。		
評価方法	授業内テスト 40% 課題 60% 評価に対するフィードバックは課題返却時に行う。		
予習・復習時間	【予習】— 時間 【復習】— 時間		
教科書	① 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論（医学書院） ② 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [5] 消化器（医学書院） ③ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [8] 腎・泌尿器（医学書院） ④ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [11] アレルギー 膠原病 感染症（医学書院） ⑤ 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [6] 内分泌・代謝（医学書院）		
参考書	必要時、授業内で提示する。		
ハイパー	特定の日時を設定したオフィスアワーは設けません。実習で不在のことも多いので、必ずアポイントメントをとってください。		

連絡先	<p>ださい。直接研究室に来訪するかメールで連絡をお願いします。</p> <p>吉越洋枝（3号館3階研究室） yoshikoshi@kdu.ac.jp 渡邊好江（3号館3階研究室） y.watanabe@kdu.ac.jp 藤倉由美恵（3号館3階研究室） fujikura@kdu.ac.jp 五百部恵子（3号館3階共同研究室） iobe@kdu.ac.jp</p>
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/)	慢性疾患と看護 ① 慢性疾患の特徴が説明できる。 ② 慢性疾患における治療の特徴が説明できる。	[予習] 成人看護学概論の第 7 章を通読する。 [復習] 授業内容の整理 [キーワード] 慢性疾患、生活習慣病、健康日本 21、セルフマネジメント、セルフケア、増悪因子、生活の再調整	講義 ○吉越
2 (/) 3 (/)	看護過程の展開について ① 情報の収集と情報の整理の仕方、アセスメント方法について理解を深めることができる。	[予習] 情報収集とアセスメントの方法について既習学習内容を復習する。 [復習] 授業内容の整理 [キーワード] 情報収集、アセスメント、問題解決過程、臨床判断	講義 ○吉越
4 (/) 5 (/) 6 (/) 7 (/)	慢性疾患患者の看護(1) 肝硬変事例 ① 肝硬変患者の身体的、心理・社会的特徴を説明できる。 ② 肝硬変患者の各期(代償期・非代償期)における看護を説明できる。 ③ 肝硬変患者の日常生活における教育的支援について述べる 確認テスト 10 点	[予習] 病態と治療論 V で学習した肝臓にかかわる内容を復習する。教科書②の第 2 章 E、第 3 章、第 4 章 B・C、第 5 章 E②、第 6 章 D③、第 7 章 B を通読する。 [復習] 授業内容の整理 [キーワード] 代償期・非代償期、出血傾向、肝性脳症、食道静脈瘤、浮腫、胸水、腹水、薬物療法、食事療法、血液検査データ(アルブミン値、ビリルビン値、血液凝固能)、黄疸、掻痒感	講義 ○藤倉
8 (/) 9 (/) 10 (/) 11 (/)	慢性疾患患者の看護(3) 全身性エリテマトーデス事例 ① 全身性エリテマトーデス患者の身体的・心理・社会的特徴を説明できる。 ② 全身性エリテマトーデス患者に必要な症状マネジメントとセルフモニタリングについて説明できる。 ③ 全身性エリテマトーデスの増悪因子とその対策を述べる ④ 寛解期を保ち安定した日常生活を送るための支援について述べる 確認テスト 10 点	[予習] 病態と治療論 I で学習した自己免疫疾患にかかわる内容を復習する。教科書④の膠原病の第 1、2 章、第 4 章、第 5 章 C、第 6 章 E②、第 7 章を通読する。 [復習] 授業内容の整理 [キーワード] 自己免疫疾患、蝶形紅斑、ステロイドパルス療法、ボディイメージの変容、再燃予防、紫外線暴露、寒冷刺激、妊娠・出産	講義 ○五百部
12 (/) 13 (/) 14 (/) 15 (/)	慢性疾患患者の看護(2) 慢性腎不全事例 ① 慢性腎不全患者の身体的・心理・社会的特徴を説明できる。 ② 慢性腎不全患者の各期(保存期、透析期)における看護を説明できる。	[予習] 病態と治療論 IV で学習した腎臓にかかわる内容を復習する。教科書③の第 4 章、第 5 章 B、第 6 章 A①、D、F、G を通読する。 [復習] 授業内容の整理	講義 ○渡邊

	<p>③ 慢性腎不全患者の日常生活における教育的支援について述べることができる。</p> <p>④ 腎移植における看護を説明できる。</p> <p>確認テスト 10点</p>	<p>[キーワード] GFR、食事療法（塩分制限、低タンパク、適正エネルギー）、運動指導、服薬指導、透析療法（血液透析療法、腹膜透析療法）、腎移植、ドナー、レシピエント、精神看護専門看護師（リエゾンナース）</p>	
<p>16（ / ）</p> <p>17（ / ）</p> <p>18（ / ）</p> <p>19（ / ）</p>	<p>慢性疾患患者の看護（4）糖尿病事例</p> <p>① 糖尿病の病態生理、治療、検査、症状について説明できる。</p> <p>② 事例の状態をアセスメントし、必要な支援と援助を考えることができる。</p> <p>確認テスト 10点</p>	<p>[予習] 病態と治療論Ⅲで学習した糖尿病について復習する。教科書⑤第4章B、第5章C①、第6章C①、第7章Bを通読する。</p> <p>[復習] 授業内容の整理</p> <p>[キーワード] II型糖尿病、インスリン抵抗性、診断基準、慢性合併症、ステイクマ、セルフモニタリング、食事療法、運動療法、薬物療法、インスリン注射、自己血糖測定、フットケア、シックデイ、TCJモデル、臨床判断</p>	<p>講義</p> <p>○吉越</p>
<p>20（ / ）</p> <p>21（ / ）</p>	<p>慢性疾患患者の看護（4）糖尿病事例 演習</p> <p>① 必要な支援や援助が実施できる。</p>	<p>[予習] 提示した課題に取り組む。</p> <p>[復習] 演習後の課題に取り組む。</p> <p>[キーワード] 臨床判断、看護実践、看護実践中の省察、推論、思考発話</p>	<p>演習</p> <p>○吉越</p> <p>渡邊</p> <p>藤倉</p> <p>五百部</p>
<p>22（ / ）</p> <p>23（ / ）</p>	<p>慢性疾患患者の看護（4）糖尿病事例</p> <p>① 実施した看護を評価し、計画の修正ができる。</p>	<p>[予習] 提示した課題に取り組む。</p> <p>[復習] 演習後の課題に取り組む。</p> <p>[キーワード] 看護実践後の省察</p>	<p>演習</p> <p>○吉越</p> <p>渡邊</p> <p>藤倉</p> <p>五百部</p>